

伝統芸能歌舞伎の海外展開に対する考察

弁護士知財ネット
ジャパンコンテンツ調査研究チーム
(東京弁護士会所属)
弁護士 鶴 由貴

1 はじめに

経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課（クリエイティブ産業課）で進められているクールジャパン政策は、国内人口の減少等による内需の減少と、コンテンツ、ファッション、地域産業、サービスなどの分野に注目し、日本の魅力を展開し、海外需要の獲得と共に関連産業の雇用を創出する狙いで進められています¹。日本の魅力の展開ということで、これまでは、コンテンツ、ファッション、衣食住、サービス、地域特産などに注目されてきましたが、本稿では、日本の伝統芸能である「歌舞伎」の海外展開について、本年5月3日から同月7日まで、ラスベガスで行われた歌舞伎公演をご紹介します。考察したいと思います。

2 歌舞伎とは

歌舞伎は、慶長8年（1603年）に京都で出雲大社の巫女という阿国が、男装をして踊ったことが始まりと言われています。当初は女性が舞台に立っていましたが、寛永6年（1629年）前後に女性が舞台に立つということは風俗を乱すという理由で禁令が出されるようになり、以後は男性のみが舞台に立つ形式で、現在に至っています²。すなわち、宝塚とは逆に、男性が女性の役も務め、男性の役を務める俳優を「立役」、女性の役を務める俳優を「女形」と言っています。

本年で言えば、歌舞伎は413年の歴史を有する伝統芸能ということになります。

歌舞伎は、古くは昭和3年8月から海外でも公演されています。歌舞伎座においても、外国人向けのイヤホンガイドや字幕ガイドが準備されるようになるなど、外国人にも楽しめるよう工夫されていますし、外国人向けのツアーとして歌舞伎を観劇するコースが組まれています。

但し、日本人でも昔の言葉で上演されるため、言葉を聞いて直ぐに理解できないことも多いですし、現代ではおよそ意識としては薄い「忠義」から切腹したり、我が子を身代わりにしたり殺したりするという話の内容自体に理解ができない人も多く、「歌舞伎は難しい」、「自分には分からない」と考えて自ら歌舞伎の観劇への敷居を高くしている方も多いと思います。このことは、外国人であれば更に理解が難しいところでもあり、解説を聞いても、何故切腹するのが分から

1 経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課作成の2016年6月「クールジャパン政策について」。

2 歌舞伎への誘い (<http://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/kabuki/jp/index.html>)

ないということを外国人の友人に言われたこともあります。そのような歌舞伎を海外に広めるといふことについては、日本のアニメやテレビ番組、映画などと比べて、ハードルが高いと感じている方もいるかもしれません。

もっとも、歌舞伎は、古くは「傾く（かぶく）」（並外れている、常軌を逸しているという意味³。）を語源としているとおり、歌舞伎発祥当時は流行の最先端に行く奇抜な服装や髪形をした舞台でした。413年の歴史の中で、常にその時代の流行を取り入れて現代の形になっており、色々なジャンルの作品があります。具体的には、時代物（江戸時代よりも古い時代の武士や公家の世界を描いた作品）、世話物（絵の時代の町人の生活に取材した作品）、所作事（舞踊）、新作歌舞伎（明治時代中期以降、狂言作者ではなく外部の文学者や作家によって書かれた作品）などがあり、現在、上演される歌舞伎の作品数はおよそ400本ともいわれているそうです⁴。

また、現代でも、新しく創作された新作歌舞伎の上演は行われています。

昭和61年に3代目市川猿之助（現市川猿翁）の始めたスーパー歌舞伎（代表的なものとしては「ヤマトタケル」など）もありますし、最近では、平成25年9月に小説家夢枕獏の「陰陽師」が歌舞伎として上演されました。平成26年1月には小説家井上ひさしの「東慶寺花だより」が、平成27年9月に絵本「あらしのよるに」が、平成27年10月にはアニメの人気作品「ワンピース」が、スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」として、平成28年4月には、再度、小説家夢枕獏の「幻想神空海 沙門空海唐の国にて鬼と宴す」が歌舞伎として上演されました。

また、現代劇である舞台「アテルイ」を歌舞伎化した「阿弔流為」は、平成27年7月に上演されました。

このように、歌舞伎は413年の伝統があり、昔ながらの作品や演出を大切にしつつ、常に新しい時代の流れを取り入れて、新作歌舞伎として作り上げ、上演されていることもあります。

3 日本の伝統的な歌舞伎の海外公演

これまでに海外公演で上演された作品では、以下の舞踊劇が多いです。

(1) 身替座禅

恐妻家の大名山蔭右京が愛人の花子に会いに行くため、召使いの太郎冠者に身替りの座禅をさせて外出したところ、直ぐに奥方の玉の井に身替り座禅の事実が露見しました。そこで、玉の井は太郎冠者に代わって身替り座禅をすることとしましたが、その事実を知らない山蔭右京は帰宅後、愛人との逢瀬を太郎冠者だと思っている玉の井に語り、最後には玉の井にやり込められる話です⁵。

(2) 棒しばり

大名曾根松兵衛に仕えている召使い太郎冠者と次郎冠者は酒好きで、主人の留守に酒蔵から酒を盗み飲んでいました。ある日、主人は、酒を盗み飲みさせないように、太郎冠者を後手に、次郎冠者には棒を肩に担いだ形にして棒に両手を括り付けて出かけたのですが、二人はどうしても酒を

3 歌舞伎への誘い「歌舞伎とは」(<http://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/kabuki/jp/1/index.html>)

4 歌舞伎への誘い「歌舞伎とは」(http://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/kabuki/jp/1/1_01.html)

5 藤田洋著「歌舞伎ハンドブック第3版」(株式会社三省堂) 274頁参照。

飲みたくなり、不自由な体制で工夫をしながら酒を飲むという話です⁶。

(3) 春興鏡獅子

小姓の弥生が、正月7日の鏡曳きの余興として将軍の前で踊りを披露し、飾られた獅子頭を手になると獅子の精が乗り移り、獅子のような迫力で踊るという話です⁷。

(4) 連獅子

親獅子が子獅子を千尋の谷底へ落とし、自力で這い上がってくる強い獅子を育てるという伝説をもとに、狂言師の右近と左近が親獅子と子獅子になって踊り、最後に獅子の精が乗り移って勇敢に踊るという話です⁸。

「身替座禅」や「棒しばり」はユーモアがあって所作が面白く分かりやすいものになっています。また、「鏡獅子」や「連獅子」は獅子の被り物をして、気振りを繰り返すという迫力のあるもので、その迫力は見応えがあります。

「身替座禅」は平成19年等に、「棒しばり」は平成16年、平成17年等に、「春興鏡獅子」は平成16年、平成21年等に、「連獅子」は平成19年、平成26年等に海外で上演されています。

舞踊劇だけでなく、平成26年7月にはニューヨークで、純歌舞伎である「怪談乳房榎」が中村勘九郎及び中村七之助の主演で上演されました。この「怪談乳房榎」は、絵師菱川重信が高田南蔵院の天井絵の作成を頼まれ、泊まり込みで仕事をしていたところ、その間に弟子磯貝浪江が重信の妻を犯して殺し、重信の下男正助を言いくるめて重信殺しに加担させて重信を殺し、重信と妻との間に生まれた赤子も殺そうとしますが、下男正助がその赤子を助けて自ら育て、最終的にその赤子が磯貝浪江を殺すという話です⁹。仇討ち狂言の一つですが、ストーリー自体において理解の難しい部分はなく、舞台上で傘を差した者と蓆を体に巻き付けたものが一瞬にして入れ替わるという早変わり「昆布巻き」があったり、本水（本当の水）を使った大滝の場で仇討ちをしたりする演出があり、海外でも評価が高かったと聞いています。

4 新作歌舞伎の海外公演

先に述べましたとおり、現在でも新作歌舞伎は毎年のように上演されています。

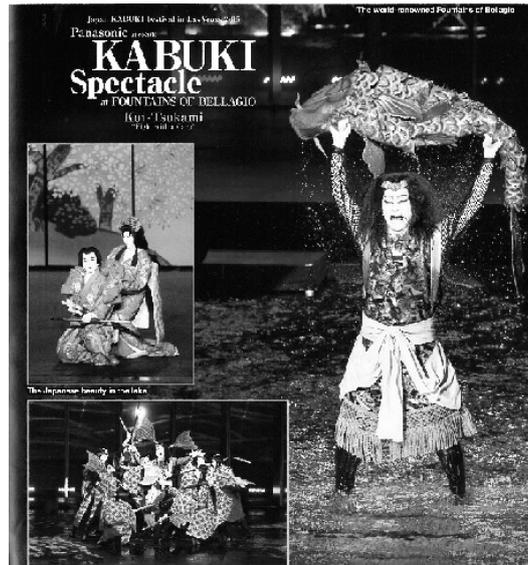
その新作歌舞伎の中で、新しい話を用いた新作歌舞伎ではなく、趣向を変えたものとして、昨年8月にはラスベガスのホテル「ベラッジオ」正面玄関前の人造湖で、市川染五郎主演で、噴水を噴き上げて作り出すウォータースクリーンに巨大な鯉のホログラム映像を出現させ、歌舞伎狂言「鯉つかみ」が上演されました。そのラスベガスの公演は、本年5月に行われたイベント「Japan KABUKI Festival in Las Vegas」のPRの一環として実施されたもので、30分ほどの上映で、無料で観られる舞台でした。

6 藤田洋著「歌舞伎ハンドブック第3版」(株式会社三省堂) 274頁参照。

7 藤田洋著「歌舞伎ハンドブック第3版」(株式会社三省堂) 266頁参照。

8 藤田洋著「歌舞伎ハンドブック第3版」(株式会社三省堂) 276頁参照。

9 藤田洋著「歌舞伎ハンドブック第3版」(株式会社三省堂) 126頁参照。



獅子王SHI-SHI-O- パンフレットより抜粋
「鯉つかみ」の舞台写真

「鯉つかみ」の内容は、琵琶湖に映る春の景色の中、恋人関係にある凛々しい若者の滝窓志賀之助と、美しい小桜姫が小舟を漕ぎ出し、舟遊びをしながら現れ、二人が舟から舞台へ上がると、季節は夏へと移り、仲睦まじい蛍狩りの様子を踊ります。やがて秋を迎え、二人は紅葉の中で華やかな舞を見せますが、志賀之助は、月明かりに写る小桜姫の影を見て、姫が琵琶湖に住まう鯉の化生であると気づきます。小桜姫の正体は、許嫁の真鯉を人間に殺された恨みから化生となった緋鯉でした。本性を見破られた姫は、巨大な怪魚へと姿を変え、湖上で鯉と志賀之助との激しい戦いが繰り広げられるというものでした¹⁰。

人造湖の中に作られた特設舞台で伝統的な舞踊が行われ、月明かりに移る小桜姫の影をウォータースクリーンの鯉のホログラムで表現し、鯉と志賀之助との戦いについてもウォータースクリーンを駆使するという、歌舞伎と現代の技術が見事に融合した作品となりました。

そして、本年5月、同じくラスベガスで、今度はMGMグランドホテル内シアターにおいて、「Japan KABUKI Festival in Las Vegas」が開催され、市川染五郎が主演しました。

「Japan KABUKI Festival in Las Vegas」で上演されたのは、今回ラスベガス公演のために創作された新作歌舞伎「獅子王」でした。これは歌舞伎舞踊「石橋」を題材にしているということです。「石橋」とは、文殊菩薩に仕える空想上の聖獣である獅子が、天竺清涼山に在る不思議な力によって作られた石の橋から、自分の子を強く立派な獅子に育てるため、橋から千尋の谷に突き落として這い上がってくるのを見守るという物語です¹¹。歌舞伎では、「石橋物」として、物語の後段で毛獅子の毛を振り回す見せ場のある「鏡獅子」や「連獅子」、今回の「石橋」などがありますが、今回は、その「石橋」を題材にしたものでした。

10 歌舞伎公式総合サイト歌舞伎美人 (<http://www.kabuki-bitto.jp/japankabuki/koitsukami/>)

11 「獅子王」パンフレット



獅子王SHI-SHI-O- パンフレットより抜粋

あらすじは、天竺清涼山において、文殊菩薩に仕える獅子王が、仔獅子たちに、文殊菩薩の重宝獅子丸の剣を奪った化物を退治するという試練を与え、兄弟獅子は石橋から人間の世界へ飛び降りていきます。兄弟の獅子は人間に姿を変えて、苦難の末に化物を退治し、宝物を取り戻すと、晴れて清涼山へと帰っていきます。文殊菩薩に元服を認められた兄弟獅子は、それを祝して毛を振り立てて喜ぶという話です¹²。

趣向を凝らしていると感じたのは、新作歌舞伎として、伝統ある歌舞伎の話を変えただけでなく、昨年に上演された「鯉つかみ」よりも、更に現代の技術・技法との融合がよい形になって表れていたことです。

舞台上では、伝統歌舞伎としての演出である引抜（衣装をあらかじめ重ねて着込み、仕付け糸で止めて置き、舞台上で一瞬にして衣装を変える演出）、早替わり（短時間に役が入れ替わる演出）、立廻り（切り合いや格闘の場面での様式的な動き）、宙乗り（俳優が舞台や客席の上を吊られて移動する演出）、本水（舞台上で使われる本物の水）の演出¹³のほか、お面を使った踊り分け、三味線に長唄（三味線で見事な技法を披露して聞かせる場面もありました。）等の表現がありました。

また、通常の歌舞伎公演では見えないものとして説明も加えられない「黒衣」^{くろこ}（黒木綿の着物と黒の頭巾をかぶり、舞台上の役者の手助けをする方）が出て、舞台上で黒衣の説明をする場面もありました。

それら伝統歌舞伎の演出に加え、上演開始後、俳優が英語で解説を加えたり、プロジェクショ

12 歌舞伎公式総合サイト歌舞伎美人 (<http://www.kabuki-bitto.jp/jpankabuki/>)

13 文化デジタルライブラリー歌舞伎辞典。

ンマッピングを用いて舞台脇の壁に映像を移したり（特に、弟獅子と祝言を挙げた山之国に住む白縫姫が、美人を恨み根絶しようとしている川之国の黒髪姫に連れ去られて木に縛られ、爪先でネズミを描いて窮地を脱する場面で、白縫姫の全身、上半身、爪先でネズミを描く場面が同時に映像で映し出されて話が展開された部分は、白縫姫の状況がよく分かり、趣向を凝らしていることを感じました。）、鳴物ではない一般の音楽が流れたり、現代の技術が違和感なく随所に現れていました。

そして、何よりもお面を使った踊り分けは歌舞伎の技法の1つですが、ひょっとこやおかめ、動物だけではなく、踊りの中にタップダンスを取り入れたり、マイケルジャクソンのお面でムーソークを行ったりと、外国でも馴染のある技法が取り入れられていたことが斬新でした。

伝統的な歌舞伎が、伝統を失わず、現代の技術、技法を取り入れ、不自然ではない形に仕上がった作品を見て、「傾く（かぶく）」を語源とする歌舞伎はどんなものでも受け入れ、歌舞伎らしくできると改めて感じました。

5 歌舞伎の海外展開

これまでの歌舞伎の海外公演や、2年続けてラスベガスで行われた歌舞伎公演を見ると、歌舞伎は日本国内だけで上演されるべきものであって、海外公演に馴染まないということは全くありません。時代物については、先に述べましたとおり、現代人や外国人には理解し難い部分がありますが、現代でも楽しめる作品は多数ありますし、現代の技術・技法を取り入れた歌舞伎が全く違和感をなく受け入れられることより、日本の魅力を海外に発信するというクールジャパン政策で推進されるべきものとなり得ます。



劇場入口前でお面を作成している画像

なお、歌舞伎の本公演だけではなく、ラスベガスの「Japan KABUKI Festival in Las Vegas」では、劇場前で最新技術を用いた企画展示が開催されました。360度のデジタルカメラを設置した簡易スタジオで、3D写真の撮影ができ、その撮影データと歌舞伎俳優の本格的なふりを合成し、自分が歌舞伎俳優になったような動画が見られる「3D KABUKI AVATOR」や、歌舞伎の隈取のデザインの中から自分で選んだ隈取と自分の顔が合成された画像を「お面」としてお土産にできるようにした企画展示です。

(<http://www.kabuki-bitto.jp/japankabuki/>)

歌舞伎の上演だけではなく、歌舞伎と融合した現代技術を海外に発信するという方法もあることが示されました。

更に、ラスベガス公演とは異なりますが、今年、日本で開催された「G7伊勢志摩サミット2016」のサミット公式お土産として、歌舞伎の隈取をフェイスパックにした歌舞伎フェイスパックが選定されました。フェイスパックは、日本国内だけで通用するものではなく、全世界で利用できるものですが、そのフェイスパックのデザインを歌舞伎の隈取とするだけで、歌舞伎俳優の化粧のように見えますし、気軽に歌舞伎に親しむことができます。

以上のことは、歌舞伎だけではなく、他の日本の伝統芸能一般に共通する点があるかもしれませんが、伝統芸能だから海外展開ということが難しいということではなく、むしろ伝統芸能だからこそ、日本の魅力を海外に発信することができる部分もありますし、ちょっとした工夫で大変興味深い形にできる部分があるということが示されたと思います。

以 上